

## 社会貢献債（ソーシャルボンド）への投資について

当金庫は、このたび、独立行政法人国際協力機構（以下「JICA」）が発行する社会貢献債（ソーシャルボンド）への投資を決定したことをお知らせします。

ソーシャルボンドとは、調達された資金が、基礎インフラ開発や社会サービスへのアクセス改善等、社会課題への対応を目的とした分野への投融資に利用されることを前提として発行される債券です。

ソーシャルボンドにより調達された資金は、JICA が実施機関となっている政府開発援助（ODA）の有償資金協力事業を通じて、開発途上地域の経済・社会の開発、日本及び国際経済社会の健全な発展のために使用されます。

また、2016年12月22日に日本政府が策定・公表した「持続可能な開発目標（SDGs）実施指針」において、JICA 債の発行が SDGs を達成するための具体的施策の一項目として掲げられています。

当金庫は、地域金融機関として、地域経済の伸展に寄与することを基本方針の一つに掲げておりますが、地域経済の伸展には日本経済の発展、さらには国際経済の発展が不可欠であると考えております。

このため、当金庫といたしましては、JICA 債への投資が、社会貢献事業の一環として、開発途上地域の経済・社会の発展、日本及び国際経済社会の健全な発展のために活用されることを期待します。

当金庫は、今後も適切なリスク管理のもと、ソーシャルボンド等への投資を継続的に実施し、地域金融機関としての社会的責任を遂行してまいります。